

みなさんこんにちは！日産京都自動車大学校の学生広報です！
第二回目の愛車コーナーは、教頭の鳥井先生をご紹介します！

教職員 & 愛車紹介

VOL. 2



鳥井先生は、1991年に京都校の教員に就任しました。それ以前は他メーカーのディーラーや、並行輸入車の業者で、整備士として活躍されていました。しかし、バブル経済崩壊の影響を受け、職場が倒産したことを機に、先に京都校に就職していた整備士時代の先輩から、「京都校で教員の仕事をしないか？」との誘いもあり、ちょうど整備士を育成することに興味を持っていたため、整備士の学校の先生になる決意をしたとのことです。就任後は、一級自動車整備士や日産の整備士資格などを取得され、元気の良さが評判の鳥井学級を作り上げられました。今でも卒業生からの連絡が絶えないそうです！

また、鳥井先生は本校のアピールポイントの一つでもある「一級自動車工学科」を立ち上げた先生の一人でもあります！一級自動車工学科の教育方針や、カリキュラムの構築など、全てがゼロからのスタートであったため、学生と協力し合って作り上げていったといいます。コース開設当初の学生数はわずか10人程度。それが今では入学者数は50人*1を超え、本校で最も学生数が多いコースになりました。



そんな、一級自動車工学科の父のような存在ともいえる鳥井先生の愛車は「日産 キックス (P15型)」です！かつての愛車との思い出や、キックスのお気に入りポイントについて語っていただきました。

これまでに多くの車を乗り継いでこられたという鳥井先生ですが、なかでも日産 ホーミー (E24型) とのお別れが忘れられないとのことでした。それは、新たに購入した車を引き取りに行ったときのことです。乗ってきたホーミーが駐車場に残された姿を見て、置き去りにしたと感じたのか、子供たちが泣き出したのだそうです。たくさんの思い出が詰まった車を、まるで家族のように感じていたのでしょう、自動車というものの価値について、改めて考えさせられるとともに、自動車って良いものだなと感じられるお話でした。現在の愛車であるキックスのお気に入りポイントは、日産を代表する技術であるプロパイロットとe-powerだそうです。「プロパイロットは運転が楽になるし、e-powerはとにかく静粛性とパワフルな走りが素晴らしい！」と教えていただきました。



最後に、鳥井先生から卒業生のみなさんに向けてのメッセージをご紹介します。

「卒業生のみんなには、筋の通った人間になってほしい。それと同時に、失敗してもいいから自分がやりたいと思ったことを目標にし、それを究める事ができるような存在にもなってほしい。そして、それらを実現してのし上がり、頂点に立てるような存在を目指してほしい！」

それでは、不定期にはなりますが、次回もお楽しみください！

出典*1

<https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2023/06/9561a1ff073f93ffd7578fb1e51b92ea.pdf>